

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 佐藤真一 副委員長 井尻善久・玉木 徹
幹事 石井雅人・菅野裕介 幹事補佐 入江 豪・牛久祥孝

★クラウドネットワークロボット研究会 (CNR)

専門委員長 小野哲雄 副委員長 神原誠之・高汐一紀
幹事 坂本大介・吉岡康介 幹事補佐 水戸 和・小林優佳・石原達也

◎本研究会は参加費が必要になります。

ISS の技報完全電子化研究会に関する御案内ページ

https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e_gihou.html

日時 2月28日(木) 10:30~17:50

3月1日(金) 9:30~16:30

会場 徳島大学理工学部共通講義棟(徳島市南常三島町2-1. http://www.tokushima-u.ac.jp/access/shinkura_josanjima/
<http://www.tokushima-u.ac.jp/campusmap/josanjima/> TEL [088] 656-9448 浮田浩行)

議題 ロボティクスとそれを支えるビジョン技術

28日午前 企画セッション1

◎トップ国際会議にアクセプトされた論文について、著者による招待講演を4件行います。具体的な講演については今後更新します。

28日午後 一般セッション1 (13:30~)

1. A teachable agent asking question: using the learning-by-teaching strategy
○Le Ray Briac・Taichi Sono・Michita Imai (Keio Univ.)
2. Regret-based emotional modeling of an opponent in a game-playing agent
○Hector Dubuis・Michita Imai・Masahiko Osawa (Keio Univ.)
3. 肩乗り型デバイスを用いた笑顔認識による環境状況記録 ○岡山将也・篠澤一彦(阪教大)
4. Local Zoo Guide Application using Image Recognition
○Rabarisson Misamanana Felicia・Kohei Kawanaka・Hiroki Tanioka・Tetsushi Ueta (Tokushima Univ.)

招待講演

5. [招待講演] パナソニックのロボティクス・イノベーション 安藤 健(パナソニック)

一般セッション2

6. 複数ロボットの無線遠隔制御による協調搬送実現のためのロボット測位手法
○安田真也・熊谷太一・吉田裕志(NEC)
7. 複数ロボットの無線遠隔制御による協調搬送システムの試作 ○熊谷太一・安田真也・吉田裕志(NEC)
8. 3Dディスプレイを用いたロボットの遠隔操縦 ○船木翔太・包 躍(東京都市大)
9. LEDパネルを用いた屋内でのUAVの飛行制御 ○宮脇大輝・浮田浩行(徳島大)

3月1日午前 一般セッション3

1. 点群深層学習を用いた3次元物体の位置・姿勢推定 ○戸田幸宏・千葉直也・橋本浩一(東北大)
2. RGB-D SLAMの3次元情報を用いたデータ拡張 ○宮本 健・塚原 整(三菱電機)
3. 災害現場における4肢ロボットの深層強化学習を用いた局所的経路生成手法の検討 ○黒澤俊樹(早大)・小方博之(成蹊大)・大川内隆朗・松澤貴司・大谷 淳(早大)・橋本健二(明大)・高西淳夫(早大)
4. 混雑緩和を目的とした誘導制御の最適化 ○重中秀介・鷹見竣希(筑波大/産総研)・尾崎嘉彦・大西正輝(産総研)・山下倫央(北大)・野田五十樹(産総研)

一般セッション4

5. 医療者動線と会話情報を融合したER内医療者行動の解析
○齋藤 巧(筑波大/産総研)・大西正輝・依田育士(産総研)・黒嶋智美(玉川大)・川島理恵(関西外語大短大)・内田康太郎・織田 順・三島史郎・行岡哲男(東京医科大)
6. 圧電素子を用いた心拍・呼吸・体動計測システムとその応用に関する研究
○吉田千香・田村宏樹・淡野公一・高橋伸弥(宮崎大)
7. 学習機能をもつ物体追跡手法を用いた複数豚追跡に関する研究
○古藤好美・千布流星・田村宏樹・淡野公一(宮崎大)

1日午後 一般セッション5 (13:30~)

8. 情景内カラー文字認識のための最適2値化と変形耐性画像マッチング ○鈴木慎人・若原 徹(法政大)
9. SMW公式を用いたADMM-L1最小化問題の高速解法

○千葉直也（東北大）・今倉 暁（筑波大）・橋本浩一（東北大）

10. 色相スケールを用いた縞間隔可変なアクティブステレオ法 ○江間 竣・包 躍（東京都市大）

11. 消失点を利用した角度の算出に基づくカメラキャリブレーション

○宇都木修一（サレジオ高専）・鈴木 寿（中大）

企画セッション2

◎PRMUの委員の最近の研究業務を紹介する講演を4件行います。具体的な講演については今後更新します。

◎セッションごとに個別ディスカッションを行います。個別ディスカッションはPRMU研究会の新しい取り組みの一つで、研究会はアイデアを議論する場であるという考え方に立った、議論重視のセッションです。通常のセッションは「発表者がそれぞれ20分発表+質疑10分だけして終わる」というスタイルで、議論が不完全燃焼で終わることも数多くありました。PRMUが試験的に導入する新しいスタイルのセッションは、「発表者が連続して15分ずつの発表を行った後、残時間で個別に並列してディスカッションする」という、徹底的に議論をしようというものです。皆様の積極的な御参加をお願い致します。

☆PRMU研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月17日（日）、18日（月）電通大〔締切済〕テーマ：社会と産業における安全・安心を支える認識・認証技術

【問合先】 PRMU研究会幹事

E-mail : prmu-organizer@mail.ieice.org